

知的障がい者支援施設での特定技能者の雇用と課題 ～日本人職員との業務分担でステップアップ～



社会福祉法人 南富良野大乘会
障がい者支援施設 南富良野からまつ園
施設長 宮 森 宣 行

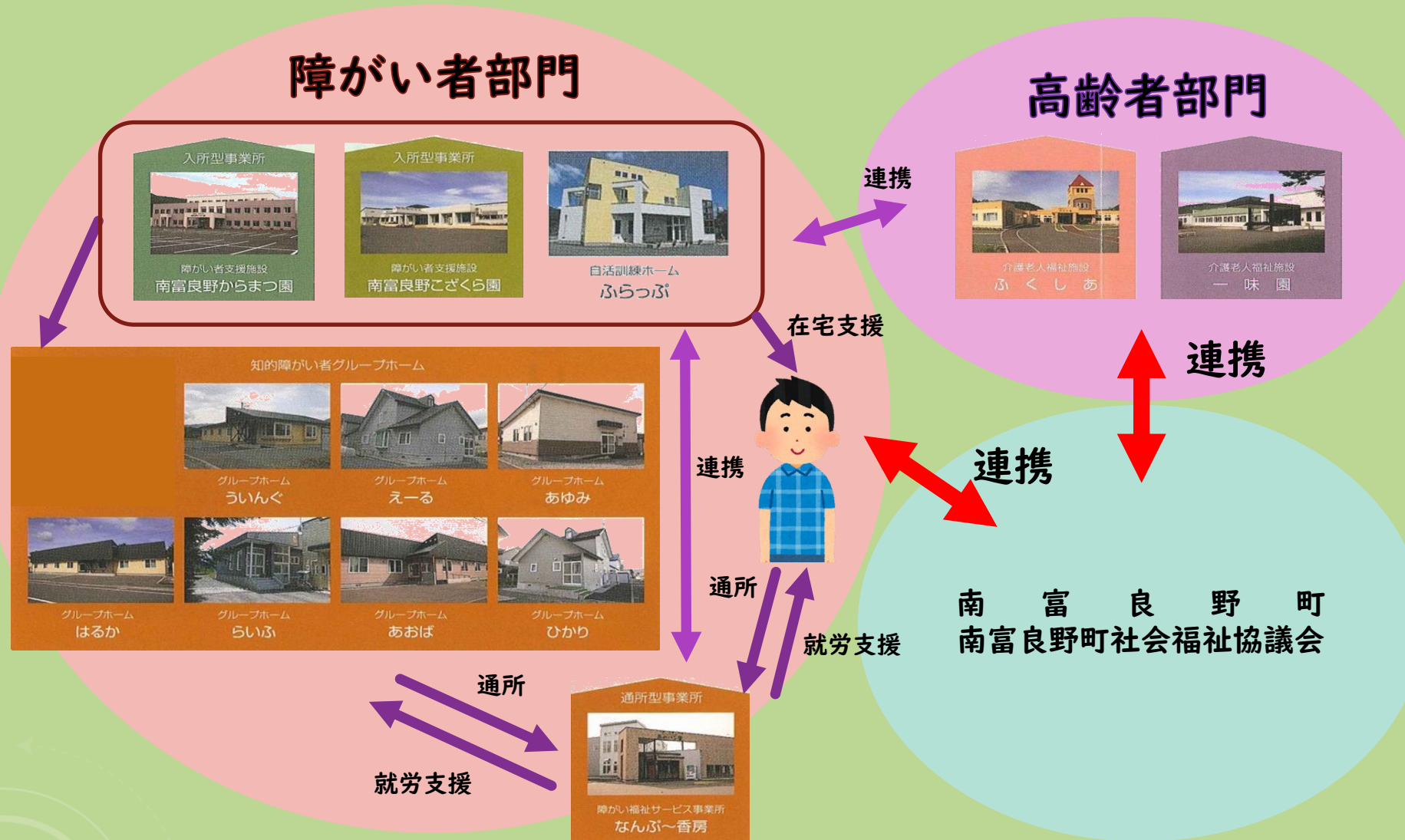
本日の構成



1. はじめに
 - (1) 法人及び事業所の概要
2. 特定技能者受入について
 - (1) 特定技能者受入の経緯
3. 特定技能者との実践について
 - (1) 特定技能者の支援と役割分担
 - (2) 仕事のようす
 - (3) 特定技能者への研修
 - (4) 特定技能者のステップアップ
4. まとめ・課題



1 - (1) 法人及び事業所の概要



(社福)南富良野大乘会

○障害者部門
南富良野からまつ園
南富良野こざくら園
なんぷ〜香房

○高齢者部門
ふくしあ
一味園

2本の柱で
南富良野町内での
各種福祉事業を展開

Ⅰ－（Ⅰ）法人及び事業所の概要



	施設名	事業形態	ご利用者定員	勤務職員数 (パート職員数)
障がい者部門	南富良野からまつ園	障がい者支援施設	100名	63名(16)
	南富良野こざくら園	障がい者支援施設	40名	32名(7)
	なんぷ〜香房	就労継続支援B型事業所 共同生活援助	35名 42名	24名(9) 0名(13)
高齢者部門	ふくしあ	特別養護老人ホーム	50名	38名(12)
	一味園	特別養護老人ホーム	50名	36名(8)

1 - (1) 法人及び事業所の概要【南富良野からまつ園】



事業形態	障がい種別	定員
- 生活介護 - 施設入所支援 - 短期入所 24時間体制の支援サービス	- 知的障がい - ダウン症 - 強度行動障がい - 自閉スペクトラム症	- 定員100名 (男性60名・女性40名) 4ユニット制 男性2ユニット 女性2ユニット
支援区分	本部施設	相談支援事業
- 支援区分平均5.63 - 男性区分平均5.57 - 女性区分平均5.69	法人事業所の中での本部施設でもあり、相談支援事業も実施している。	- 基本相談支援 - 計画相談支援 - 地域相談支援 - 障がい児相談支援

1- (1) 法人及び事業所の概要【南富良野からまつ園】



南富良野からまつ園のユニット編成

ユニット名	性別	平均年齢	平均区分	車いす・歩行器 使用者数	備考
もりのまち	男性	42.8歳	5.76	車いす1・歩行器0	自閉症・行動障がいの方が主
ほしのまち	男性	55.1歳	5.42	車いす3・歩行器3	高齢者・中度～重度知的障がいの方が主
はなのまち	女性	48.7歳	5.63	車いす3・歩行器1	自閉症・行動障がいの方が主
にじのまち	女性	62.3歳	5.75	車いす2・歩行器4	高齢者・中度～重度知的障がいの方が主

◎ほしのまち・にじのまちの特徴

1. 高齢の方がいるため、「介護」業務がある。
 2. 精神面で穏やかな方が多い。
 3. 中度～重度知的障がいの方であり、話ができる方が多い。
- 介護スキル活用・コミュニケーション両面でマッチするのは？

2－（１）特定技能者受入の経緯



南富良野大乘会では…

社会福祉法人黒松内つくし園

2017年～ 在留資格「介護」をもつ外国人採用

2020年～ 在留資格「特定技能」1期生採用（カンボジア）



視察 助言 紹介

→ 2022年8月～ 6名採用（インドネシア）

〔 からまつ園 4名（女性）
一 味 園 2名（女性） 〕

特定技能とは別に…

東川町外国人介護福祉人材育成支援協議会 → 在留資格「介護」

2022年4月～ 一味園で1名採用（インドネシア）





2－（１）特定技能者受入の経緯

さらに！２期生を採用！

2023年7月

6名採用（インドネシア）～ からまつ園 5名（男性1名・女性4名）
こざくら園 1名（男性1名）

現在、南富良野大乘会では…

南富良野からまつ園	特定技能者9名（男性1名・女性7名）
南富良野こざくら園	特定技能者2名（男性1名・女性1名）
一味園	特定技能者2名（女性2名）
	在留資格「介護」1名（女性1名）

※一部配置換えなどにより異動あり。



3－（１）特定技能者の支援と役割分担

◎特定技能者のコミュニケーションスキル

「ある程度日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力」
「介護の現場で働く上で必要な日本語能力」



日本人職員の「やさしい日本語」とわかりやすい資料説明が必要。



◎特定技能者の会議技術

主にテキストで学ぶことができる介護技術
母国の学校や管理団体の支援によって習得



実践経験が少なく、ご利用者個々にあっていない場合も。



南富良野からまつ園では…

1. コミュニケーションが比較的取りやすい「ほしのまち」「にじのまち」配属。
2. 職員からのコミュニケーションは端的な日本語で。書面での提示も多く活用。
3. 介護技術は、実践の中で日本人職員から伝える。

3 - (1) 特定技能者の支援と役割分担



(1) 大乗会の職員としての基本的マナーについて

- ① 丁寧に挨拶をしましょう。
- いつも元気に大きな声で。
- おはようございます。
- お疲れ様です。
- お先に失礼します。
- お疲れ様でした。
- 今日一日よろしくお願ひします。
- ② 時間を守りましょう。
- 開始と終了。
- ③ 電話の対応を丁寧にしましょう。
- ④ 5分前行動をしましょう。

「こんにちは」
Selamat siang
「ありがとうございます」
Terima kasih

「5分前行動」
Aksi 5 menit lebih awal

「丁寧な言葉」
Kata-kata yang sopan

(1) Tentang sopan santun dasar sebagai karyawan

- ① Mari kita menyapa dengan sopan.
- Selalu ceria dan dengan suara keras.
- Selamat pagi.
- Terima kasih atas kerja kerasmu.
- Maaf, saya tertinggal dulu.
- Pekerjaan yang baik untuk hari ini.
- Saya berharap dapat bekerja sama dengan Anda hari ini.
- ② Mari kita menjaga waktu.
- Awal dan akhir.
- ③ Mari kita menerima telepon dengan sopan.
- Ayo berakasi 5 menit lebih awal.



冷蔵庫の使い方と注意事項
Cara menggunakan lemari es dan tindakan pencegahan

冷凍室 (Freezer)
-18℃で凍らせて保存します。
Bekukan pada -18 dan simpan.

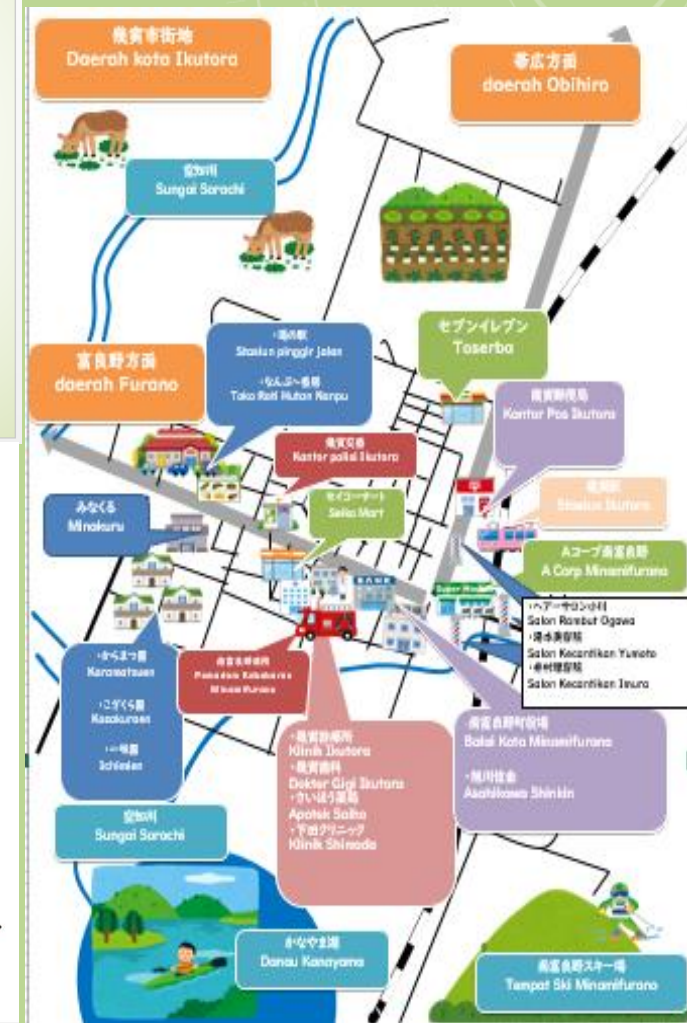
冷蔵室 (Tempat makanan)
0~10℃で冷やして保存します。
Dinginkan dan simpan pada 0-10℃.

野菜室 (Tempat sayur)
野菜を冷やして保存します。
Dinginkan dan simpan sayuran.

気を付けて! 壊れます!
Hati-hati! Pecah!

- ① 食べ物は冷蔵庫に入れて保存します。
Simpan makanan di lemari es.
- ② 冷蔵庫の扉は必ず閉めます。
Pastikan untuk menutup pintu kulkas.
- ③ 熱い食べ物は冷ましてから入れます。
Diamkan makanan menjadi dingin sebelum masukkan.

※わからないことがあれば、聞いてください。
Jika Anda memiliki pertanyaan, silakan bertanya.



3 – (1) 特定技能者の支援と役割分担

◎特定技能者にも個々に得意なものがある！

たとえば…

【 生活日誌のパソコン入力 】

にじのまち配属の特定技能者4名（女性）は…

「あまりパソコンは触ったことがない…」
「スマホなら大丈夫だけど…」

！！そこで！！ （→右図のように）

- ◎写真付きでパソコン使用方法を説明
- ◎講習会も実施
- ◎打ち込む内容はできるだけ定型文を提示

にじのまち生活日誌の記入方法について（特定技能実習生用）
令和4年11月10日福永作成

① 左側のアイコンの中の「行動」をクリックします。
② 右上の「一覧」というボタンをクリックします。

特定技能者2期生用（虹り実） 支援記録システム記入例について
令和5年10月1日作成

1. 「行動」

①午前（中）は～	①居室で	①テレビを鑑賞しており、	①落ち着いて過ごしている。
	②居客室で	②処置を	
②午後（から）は～	③食堂で	③創作活動を（パズルを、塗り絵を）	②行なっている。
	④談話室で	④他のご利用者と交流をされており、	③表情豊く過ごしている。

3 - (1) 特定技能者の支援と役割分担

◎特定技能者にも個々に得意なものがある！

【 生活日誌のパソコン入力 】

ほしのまち配属の特定技能者1名（男性）は…

「趣味がパソコン・ゲーム、簡単な操作なら大丈夫」
（→右の面談聞き取り時に確認）

- ◎自由度の高いフローチャートで入力内容を提示（部分的に定型文）
- ◎打ち込む内容を自ら考える形に

現在では、
ご利用者の生活状況に合わせた部分的な定型文を
自ら考えて書式として蓄積し、短時間で日誌など
記録を行えるようになっている。

1. 目的

アレックス支援員がほしのまち業務（早番・リーダー・遅番）を不安なく行えることを目的とする。（入職7月、ほしリーダー10月開始、11月以降ほし早番・ほし遅番実習開始予定）

2. 現状

状況把握、理解力が高く、飲み込みなども突出して優れていると思われる。言語を覚えることが出来ないご利用者の身振りや内容を理解したり、職員が「～で～を取って来て。（ユニット以外の場所）」
「～さんの対応お願い。」お願いすると、直ぐに返答があり、その通りの行動が出来る。また、パソコンのキーボード操作で日本語を打つのも容易に行っており、わからない単語を伝えると「意味わからない」と発言があり、職員の説明を聞いても曖昧な場合は自らネットの翻訳機能を使ってすぐに理解している様子である。

アレクサンダー支援員の日誌の記入方法について

行動（通常時）					
生活状況	日中は〇〇で過ごしていることが多い。				
		入浴日	活動日		
	〇〇で入浴を行っており、その後ジュースを提供している。	作業	活動状況	りとるに行き、ジュースケーキを食べている。	
		〇〇で〇〇を行っている。		りとるから持ち帰ったジュースケーキを食べている。	

3 - (1) 特定技能者の支援と役割分担

時間	平日	土・日
7:00	起床	起床
7:30	朝食	朝食
8:00	歯磨き、服薬	歯磨き、服薬
9:00	余暇時間	余暇時間
10:00	入浴（月・水・金）・活動（火・木）	整容支援（身だしなみ）
11:30	昼食	昼食
12:00	歯磨き、服薬	歯磨き、服薬
13:45	入浴・活動	喫茶店「りとる」同行支援
15:00	おやつ	同行支援終了
16:00	ホームルーム	ホームルーム
17:00	夕食（食事介助が必要なご利用者）	夕食（食事介助が必要なご利用者）
17:30	夕食	夕食
18:00	歯磨き、服薬	歯磨き、服薬
20:00	就寝時薬	就寝時薬
22:00	就寝	就寝



3－（１）特定技能者の支援と役割分担

◎日常の業務の中で…

「基本的な介護技術を活用できる業務」

食事介助・移動介助・排泄介助・入浴介助・移乗介助・着替え など…

初めは日本人職員とともに実践。ご利用者個々の特徴を伝える。

その後、単独での業務実践。困ったことはタイムリーに相談、日本人職員から聞き取り。

入社後、約半年が経過した現在…

介護技術を活用する業務はほとんど単独で行えるように！





3－（１）特定技能者の支援と役割分担

◎健康支援課（医務室）での業務 → ４名の配属看護師・支援員で実施

通院（日程調整・同行・処方箋管理） ・ 服薬（分包薬まとめ・管理・日々の仕分け）
処置薬（各ユニットご利用者の軟膏塗布など） ・ 健康把握（体重・バイタルサイン確認など）
記録（通院記録・健康記録など） ・ その他（服薬チェック表印刷など雑務）

多忙で業務が回らない現状・・・

部分は手順をレクチャーすれば、特定技能者にも業務可能では？

（１）ご利用者の内服薬などの準備

- 分包薬のチェック（錠数・粉数・名前印字確認）
- 仕分け・個人ごとにホチキス止め
- 各ユニットの内服薬準備 ※看護師とともに実施

（２）ご利用者の誘導・処置

- ユニット・医務室間の移動同行、外用薬塗布、体重測定

（３）事務業務

- 書類印刷・物品移動など

3－（２）仕事のようす（6分23秒）



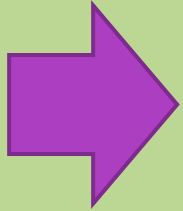
4 - (2) 仕事の様子





3 - (2) 仕事のように

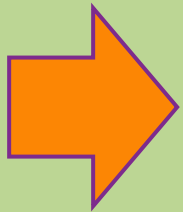
特定技能者の日本語スキルと介護技術スキル



高齢者を対象とした一般的な介護技術スキル
支援者の力量・被介護者の体格などは考慮されていない

南富良野からまつ園では・・・

日頃の支援現場（介護福祉士資格保持者・当該ユニット配属職員が付添い）



ご利用者個々の特性に応じた言葉かけの方法、身体介助スキルなど
支援者の体格や力量に応じた技術
歩行器・車イス・保護帽などの補装具をはじめ、物品の使用方法や注意点

- ※ 特定技能者個々に合った介護技術スキルを考え、見守りの下で実践を重ねる
- ※ 特定技能者が自ら考え、実践の中で反省し、改善する学びの機会としている
- ※ できることから取り組み、ステップアップの意欲向上を図る

3 - (3) 特定技能者への研修



サービスの質の向上

- ・ 監理団体の支援はあるが、施設独自の育成・研修体制が必要。

課業などのスキルアップ

- ・ 可能な限り、できることを増やすことでスキルアップに努める。

コミュニケーション

- ・ 職員育成するためには欠かせない要素である。

3－（４）特定技能者のステップアップ(1分8秒)



3 - (3) 特定技能者への研修 (普通救命講習)





3－（４）特定技能者のステップアップ

○令和４年度に入職した特定技能者

→ １年間「にじのまち」で介護技術と日本語スキルを学んだ結果・・・

２名がN３試験に合格！

日勤だけでなく、早番・遅番もできた！

！！！そこで！！！

今年度から「はなのまち」配属 → 自閉症・行動障がいの方が主
こだわりにより言葉遊びのような質問をされることも・・・

日本人職員とペアで勤務

- コミュニケーションは日本人職員とともに。
- 移動同行・歯磨き・食事・入浴などはスキルを発揮して。
- 朝夕礼での報告は、日本語の勉強として取り組む。
- パソコンでの生活状況記録にも挑戦。
- 医療機関への通院同行支援も事業所看護師とともに同行。
- にじのまちの夜勤も練習中。

3－（４）特定技能者のステップアップ(2分4秒)



4. まとめ・課題



福祉サービスの質の担保

- ・初めはできることから！学んだ介護スキルや日本語が活かせる業務に従事
- ・介護技術スキル・日本語能力も日々向上、勉強熱心
- ・知的障がいにかかわる知識習得や概念理解が必要 → その人の個性として捉えている様子がある

特定技能実習生の教育

- ・定期的に日本語にかかわる勉強会や管理団体からの助言がある
- ・業務やプライベートの中で、日本人職員とのコミュニケーションから学んでいる様子も！
- ・日常的に日本語でコミュニケーションをとる環境が必要

特定技能者も、日本人も、ともに生きる職場を

- ・一人ひとりに得手不得手があることを理解
- ・ご利用者の支援業務を分類し、強みを活かせる業務分担に！
- ・特定技能者も、日本人も、ともにフォローし、お互いに成長を実感しながら働ける職場を目指して

4. まとめ・課題

【 今後取り組んでいきたいこと 】

- 日本語能力の向上
- パソコンスキルの習得
- 知的障がいに関する知識獲得
- 権利擁護やリスク管理といった概念理解

特定技能者の学びを深める
成長とモチベーションに
将来的な在留資格「介護」取得に協力

多文化共生社会の実現に向けて

日本に来た外国人 → スキルアップを実感しながら働く
受け入れた日本人 → 新しい価値観に触れ、ステップアップ

= ご利用者やそのご家族、地域の満足感にもつながっていくのでは？

満足感

働きがい
やりがい
サービスの質



【 南富良野大乘会基本理念 】

すべての人々が手に手を取って助けあい、ともに生きる「大乘の心」を育てるとともに、
利用者の希望・自立・幸せのために、地域における人々の和と輪を大切にしながら、
限りない福祉の心の広がりを求めています。

4. 課題とまとめ (2) まとめ

【 特定技能者を取り巻く環境 】

- 福祉人材不足(2040年度に約280万人)
- 技能実習制度の廃止と特定技能制度の見直し→一元化
- 特定技能者採用事業所の急増

特定技能者の急増による人材の質のばらつき
人材の取り合い、都市部偏重に
(令和5年6月現在、介護分野1,000人超の雇用地域
埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・大阪・兵庫)

特定技能者が長く安心して就労・生活できる環境提供

【からまつ園で働く特定技能者の声】

- 「リラックスして仕事に取り組める」「インドネシアの生活と似ている」
- 「ご利用者とのコミュニケーションが楽しい」
- 「たくさん話ができることで、新しい言葉や発音を知るきっかけになる」

長く日本
で働くために
必要なことは

介護・福祉技術向上
コミュニケーション
モチベーション

！そのために私たちができること！

- 衣食住の確保とサポート…安心安全の提供
- 勉強会・体験機会の開催…学ぶ意欲の醸成
- ご利用者・職員との積極的なコミュニケーション
- 夜勤など単独業務でモチベーションアップ

【 ご清聴ありがとうございました 】



社会福祉法人 南富良野大乘会



公式ホームページ



公式facebook

